



- 所在地 大阪市東成区中道一丁目
- 敷地面積 2,377㎡
- 建築面積 1,109㎡（附属棟含む）
- 延床面積 3,845㎡（附属棟含む）
- 構造階数 RC造 4F  
（S造 平屋 1棟）
- 工事期間 平成30年12月～令和2年4月
- 設 計 （株）徳岡設計・E&Sエンジニアリング  
設計共同企業体
- 施 工 （株）中道組
- 請負金額 996,840千円

平成19年の「府有建築物耐震化実施方針」により、平成27年度までに耐震改修が必要な施設に位置付けられていたことに加え、老朽化が顕著であった「大阪府谷町福祉センター」「大阪府盲人福祉センター」「大阪府障がい者社会参加促進センター」の3施設を一元化し、様々な障がいのある人々がよりよく生活するための情報発信・コミュニケーション支援拠点として本施設は建設されました。

利用者の多くは森ノ宮駅から徒歩によるアプローチとなることから西側市道に面する北西角に広場の空間を設け、施設の入口を配置し、南寄りに駐車場入口を設けることで歩車分離を行っています。

道路に面する西面はアイキャッチとなるよう正面性のあるデザインとし、威圧感の無い立面にアクセントになる垂直ルーバーを設け、隣地との視線に配慮し、相互のプライバシーを確保。外装材は暖色系のタイル張りやゆず肌状の塗装仕上げとして、全体的に暖かく親しみやすい印象をあたえます。

また、利用者の使いやすさ・安全に配慮し、緊急避難情報設備等を設置しています。